

**第25回若葉区泉地域コミュニティバス運行協議会
議事要旨**

1. 開催期間

令和5年11月19日（日）

2. 場所

白井公民館 講習室1・2 10:00～

3. 出席者

（自治会）

第17地区連協会、高根団地自治会、高根グリーンタウン自治会、大広自治会、新宮田自治会、北谷津自治会、中田自治会、富田自治会、小間子自治会、下田町自治会、大草町自治会、いずみ台ローズタウン自治会、金親町自治会

（千葉市）

若葉区地域づくり支援課、交通政策課

（オブザーバー）

千葉都市モノレール株式会社、白井地区部会、社会福祉法人 泉寿会

（バス事業者）

千葉中央バス株式会社

3 配布資料

第25回若葉区泉地域コミュニティバス運行協議会・・・資料1

（参考資料）

- ・コミュニティバスの概要と現状
- ・モバイルチケットによる利用者利便性向上について
- ・千葉市地域公共交通計画（概要版）

4 議事内容

（1）安全対策上の支障があるバス停位置の見直し
・安全対策上の支障があるバス停留所について、未対応のバス停留所については、引き続き調整を行う旨事務局より報告した。
（2）利便性向上に向けた取組み
・利便性向上のための①バス停留所の位置の見直し、②フリー区間のエリア拡大については、引き続き地域住民からの意見を募集する旨事務局より報告した。
・③バス停留所名の変更予定箇所（4箇所）については、次回ダイヤ改正時に変更予定であることを事務局より報告した。
・④回数券制度の再導入については、鉄道事業者等において、交通系 IC カ

ードの普及により回数券の販売を終了する動きがみられるが、利用者にとってはメリットがあるため、再導入へ向けてバス事業者と調整を進めていきたい旨事務局より報告した。

(主な意見)

- ・次回ダイヤ改正はいつか。バス停の名称変更は、なるべく早く対応すべき。
→令和6年10月以降を予定しているが、早期に対応できるように努めたい。(事務局)
- ・料金は一律300円のため、乗車距離が短い人には負担感が大きい。また、シルバー割引券や往復乗車券の導入なども検討してほしい。
- ・料金改定については、コミュニティバスの収支を含め総合的に判断して、本協議会で議論していく必要がある。(事務局)
- ・料金については、元々100円で始まったが、現在は300円となっている。100円ならばよいと思っていた方も、300円となれば色々な意見が出る。300円にしたきっかけではなく、コミュニティバスを存続させるためにこれまでも色々と検討してきた経緯がある。長い目で考える必要がある。(会長)
- ・乗車距離の関係から、一律300円となっていることに異議があることは記録として残しておきたい。(会長)
- ・コミュニティバスについては、お得な1日乗車券等を含め、利用方法等をよく理解していない方が多い。周知に力を入れた方がよい。
→コミュニティバスの概要をまとめ、自治会で回覧する等、多くの方に利用していただけるようPRしていきたい。(事務局)

(3) 地域の観光資源と連携した取組みの検討

- ・①地域協議会への参画については、参加いただける地域事業者等の情報を引き続き募集する旨事務局より報告した。
- ・②デジタルチケットの導入に伴う中学生料金の変更について決議をとったところ、賛成多数により可決された。
- ・他地域から来る方々にコミュニティバスの存在を知ってもらえることが大きい。少しでも利用増につながられればと考える。
- ・中学生の料金が100円から300円に上がってしまうが、デジタルチケットを導入することによる利用者増のメリットの方が大きいと判断できる。
- ・中学生料金の変更に向け、必要な手続きを進めていく。(事務局)

(主な意見)

- ・中学生の利用者は。
→年間2、3名程度(バス事業者)
- ・バスダイヤと通学時間が合わないことから小中学生が利用できない。

(4) 大宮団地方面へのルート延長等の検討

- ・本件に係る運行協議会での経過を説明し、振り返りを行った。

(経過)

- ▶前回協議会において、いずみローズタウン自治会より、いずみバスの大宮台方面へのルート延長等について提案があり、意見交換を実施した。
- ▶利用者への影響が大きいことから各自治会を通して地域住民にアンケート調査を実施した。
- ▶アンケートの結果、既存バスを減便して通学手段確保のためのルート変更を行うことには反対意見があり、改めていずみローズタウン自治会と教育委員会と協議することとなった。
- ・協議の結果や進捗状況等の共有を目的に、今後も本協議会において報告を行っていくこととする。